

平成30年度 事務事業評価シート(実施計画事業・経常事業)

事務事業名		収集処理委託事業			担当部	市民生活部	担当課	ごみ政策課	担当係	収集美化係
実施計画	3	年目								
新基本計画	市政戦略編	分野別計画編	1	安全・環境	5	ごみ対策	4	ごみの安定処理を推進します		
予算区分	一般会計	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	ごみ 大 中
根拠法令・個別計画	① 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ② 廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例 ③									
目的	何(誰)を対象に	市民から排出されるごみ								
	どのような状態にするか	一般廃棄物の処理責任は市にあるため、収集処理業務の継続性・安定的遂行を前提に委託する。								
事業の概要	手段	<p>○リサイクルプラザ収集員の退職にあわせ、順次ごみ収集業務の委託化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空きびん(平成30年10月～) ・破碎ごみは当分の間直営とし、時期は正規職員の定年退職及びリサイクルプラザ他業務との兼ね合いから総合的に検討する <p>○既に委託化されている業務についても、効率・経済性・市民の利便のバランスを考慮し見直しをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみの長期継続契約化(平成30年～)・燃やすごみのうち、剪定枝の午後回収による資源化(平成30年10月～) ・ペットボトルの3人乗車体制見直し(平成32年10月～) ・燃やすごみ9コース、プラスチック製容器包装4コースの委託期間統一、市内全体でのコース再編を可能に(平成33年10月) <p>○ごみ収集業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃やすごみ(週2回9コース)・プラスチック製容器包装(週1回4コース)・ペットボトル(月2回2コース)・金属類(月2回)・空き缶類(月2回) ・古紙古布類(月2回※雑がみのみ週1回、古紙4品目と古布の売却益の地域への還元(桃花台地区を先行実施) 								
	年度別事業内容	<p>事業内容</p> <p>28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○燃やすごみ(9コース) ○金属類等(1コース) ○ペットボトル(2コース) ○空き缶等(1コース) ○プラスチック製容器包装(4コース) <p>29年度</p> <p>28年度に加え</p> <ul style="list-style-type: none"> ○燃やすごみは午前中収集完了できる体制に ○クリーンアップ等が出る剪定枝の資源化(粗大ごみ収集業者による特別収集) <p>30年度</p> <p>29年度までに加え</p> <ul style="list-style-type: none"> ○古紙古布の回収ができる集積場を約600箇所拡大。資源用指定袋を使用する雑がみと古布は雨天でも排出可能に。粗大ごみの長期継続契約化 ○雑がみの毎週収集。古紙4品目と古布の売却益で収集経費を賄い、残った分は地域へ還元(桃花台地区を先行実施、他地区は平成31年度予定) ○10月～空きびん(2コース、蛍光管の一部込み)の委託化 ○10月～集積場に出された剪定枝の資源化(燃やすごみ収集業者による午後回収) ○10月～破碎ごみのうち小型のものは燃やすごみでも可とする。(桃花台地区は4月から先行実施) 								

	H28		H29		H30
	当初予算額	決算額	当初予算額	決算見込額	当初予算額
事業費	合計				
財源内訳(千円)	400,481	392,832	413,009	396,849	434,031
国支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	400,481	392,832	413,009	396,849	434,031
特定財源の説明					
事業費内訳(千円)	細々節		H28		H29
			当初予算額	決算見込額	当初予算額
印刷製本費	465	219	0	0	0
ごみ収集委託料	391,056	389,055	405,249	393,254	427,071
適正処理困難物処理委託料	4,500	44	3,300	15	2,500
粗大ごみ収集受付委託料	3,700	2,936	3,700	3,006	3,700
粗大ごみ処理手数料収納委託料	760	578	760	574	760
従事者数	正職員(人数)		H28		H29
	1.00		1.00		1.00
	その他職員(人数)		H28		H29
	0.20		0.20		0.20

	事業の成果指標		単位	H26	H27	H28	H29	H30	
	①	②		目標	実績	目標	実績	目標	実績
ステップ I	①	ごみ収集委託コース数	コース	目標	16	22	23	23	25
				実績	16	22	23	23	23
	②			目標					
				実績					
ステップ II	事業の活動指標		単位	H26	H27	H28	H29	H30	
	①	ごみ収集委託のうち新規に外部委託したコース数		目標	0	6	1	0	2
			実績	0	6	1	0	0	
	②		目標						
			実績						
業績	事業の目標達成状況とその要因、実績増減の要因								
	H29実施結果	<p>H29年度は新規の委託はないが、収集方法の見直しによる資源化の促進を図った。具体的にはクリーンアップ等で出る剪定枝を燃やすごみとしてでなく資源として回収することとした。他にも、乗車体制の見直しの検討や、収集の方法を変えることで市民の負担なく、さらにごみの減量を図る方法について検討を行い、平成30年度から実施していく体制を整えた。</p>							
ステップ II	今後の見通し、要因を踏まえた事業の見直し								
	H29実施結果	<p>「燃やすごみ」は午前中に収集完了する体制を整えた。このことで、集積場を管理する区の役員等の負担軽減、カラス等鳥獣被害の抑制を図った。平成30年4月からは、雑がみの収集を2週間に1回から週1回に拡大することを桃花台地区で先行実施、また、古紙古布が排出できる集積場を約600箇所拡大するなど、ごみの減量と資源化の促進を図った。今後の見通しとしては、新たな委託化は、平成30年10月からの空きびん収集の委託化以降は、リサイクルプラザ正規職員の雇用の確保が必要であり、今後の定年退職及び業務の状況により総合的に判断する。また、桃花台地区で先行実施している取り組みを、平成31年度から全市に拡大の予定である。</p>							

事業の評価	事業の方向性	拡大	対象の拡大や手段の充実等により、事業のボリュームを拡大するべきもの
	判定理由	<p>収集方法の見直しにより、ごみ排出量の削減が図れれば、収集経費の増加を上回るごみ処理経費の削減が期待でき、多大な費用を要しているごみ処理経費の抑制につながる。市民の利便性とコストのバランスを鑑み、現在の委託業務についても適宜見直しや改善を進める。また、リサイクルプラザ直営の収集業務については、平成30年10月からの「空きびん」委託化以降は、直営収集コースが破碎と蛍光管の一部に限定されるなかで、今後20年にわたってリサイクルプラザ正規職員の雇用の確保が必要であり、今後の定年退職状況及び業務の状況を総合的に検討したうえで委託化の適否を判断する。また、平成31年度からは、雑がみの毎週回収と、雑がみ以外の古紙古布に売却益の地区への還元、破碎ごみの一部分別簡素化を、市全域に拡大する予定である。</p>	